

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 25日

事業所名: デイサービスちよだ

保護者等数(児童数)

回収数:33 割合:36%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					活動スペースは確保されています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1		3		子ども3人に対して1名の職員(保育士・児童指導員)を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	4	1		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	12					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	11			1		子どもたちの学年齢にも合わせて、あそびを発展させたり、計画的なプログラムを実施します。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	4	3		コロナ禍ということもあり、満足いく支援が来ていませんが、実施を検討していきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12					送迎時に子どもの姿を伝えあい、子ども理解を進めています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12					相談を受けた場合に時間や場所を設けたり、困っていることに対してその都度丁寧に保護者の方と懇談をしていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6	2			今年度はコロナ禍ということもあり、実施できませんでした。年間を通してプログラムの立案をしていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1		2		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1		1		毎月のおたよりなどで月間プログラムをお伝えしています。
14 個人情報に十分注意しているか	11			1			
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	4		2		緊急時の対応や感染症対応についてはおたより等で随時伝え、毎月訓練を実施してきました。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	2		7		今年度はコロナ禍ということもあり、保護者の方と合同での訓練は実施していませんが、今後合同での実施を検討していきます。
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11			1		
	18 事業所の支援に満足しているか	11			1	送迎がないのが辛い	来年度も送迎を実施する予定はありません。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。児童発達支援管理責任者山口さくら

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 25日

事業所名 デイサービスちよだ

保護者等数(児童数)

回収数 6割合 40%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					今年度はコロナ対策でのご協力ありがとうございました。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6					引き続き、保育士の配置、専門性を高めるための研修を実施していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					故障している個所や改善の必要な場所は工事等を行っている。また消毒、清掃などを徹底していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6					親子でのふれあいあそびを楽しめるように、日々の清掃を実施していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6					半年に一度保護者との懇談を設けて思いを聞いたり、子どもの姿から課題を検討し、計画書を作成しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6					親子で満足していただけるようなプログラムを計画していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				6		
保護者 への 説明 等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6					定期的に子どもとの分離時間を設けてきました。交流会やリフレッシュの時間をつくる中で、保護者の方向士交流する場を設ける中で、子どもの捉え・関わり方を深めていきました。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6					
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6					おたより作成の中で、給食についてや献立についても保護者の方に提示していきます。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6					書類は保管庫で管理しているが、保護者と職員との話をする環境などを整えていきます。	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6					
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6					
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	6					プログラムの変更など、子どもたちの姿に合わせ柔軟に対応していく。また保護者の方のニーズに合わせて、今後の支援の向上や業務の改善に努めていきたい。
	23 事業所の支援に満足しているか	6					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。児童発達支援管理責任者:山口さくら

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和4年3月23日

公表:令和4年3月25日

事業所名:発達センターちよだ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	園庭も使い、のびのびと過ごす事ができている。	
	2	職員の配置数は適切である	53%	47%	通園の稼働により、完全とは言わないまでも、概ね適切である。今現在でいえば足りていないと思うこともあった。	産休の職員や病休の職員がいるが、代替え職員がいないことがあった。引き続き欠員が出ないように努力していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	47%	53%	子どもの洗面所にある手作りの棚が使いやすいよかった	修繕箇所にはついては、その都度改善している。また、今年度は乗降時に雨に濡れないように、カーポートを設置しました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	87%	13%	登園前、降園後に清掃を引き続き実施している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	79%	21%		法人全体で検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			オンライン研修も含めて、施設研修も引き続き、専門性を高めるために実施していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	64%	36%		標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、共通の発達の票を使ってケース検討を実施しました。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	100%			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	73%	27%	午睡時間なども有効に使いながら、実施してきた。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	87%	13%		様々な業務も重なっているが、全員が集まらなくても、職員間の連絡ノートも作成しながら実施していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%				
関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	92%	8%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	91%	9%		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	78%	22%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%			

護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	92%	8%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	80%	20%		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	75%	25%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	93%	7%		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	92%	8%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	86%	14%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	46%	54%	コロナ禍のため実施できていない。	2022年度は実施していく方向で検討を始めました。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	64%	36%	毎月、必ず11日の前後で実施している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	87%	13%		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	93%	7%		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	93%	7%		食事アレルギーについての研修を図っていきます。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	93%	7%		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	93%	7%		障害者権利条約、子どもの権利条約についても引き続き学習を進めています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	77%	23%		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。
 発達センターちよだ デイサービスちよだともに全職員で実施しました。
 園長伊藤輝人 児童発達支援管理責任者:水野裕貴 児童発達支援管理責任者:山口さくら